

第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表
(平成28年度実績及び評価と平成29年度実施計画)

【平成28年度計画についての実績の評価基準】
A 達成 (計画達成または、計画以上の取り組みができたもの)
B 未達成 (実施したが、計画通りには達成できなかったもの)
C 未実施 (廃止ではないが、実施しなかったもの)
D 事業廃止

資料4

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内容 (計画記載内容)	対象	所管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
1 家庭・地域における食育の推進	(1) 楽しく食べることの推進・望ましい食習慣と知識の習得	1	一人ひとりにとって望ましい食事の理解の推進	健康教育やイベント、食生活改善推進員の地区組織活動等において、食事バランスガイド等を用い、市民にバランスの良い食事をすることの大切さを広めます。	市民	保健福祉局健康支援課各区健康課	乳幼児健診、健康教育、食生活改善推進員の地区伝達活動講習会など様々な場面で、対象者に合わせ、食事バランスガイド(厚生労働省と農林水産省策定)、10食品チェックシート等を利用して、普及啓発を実施した。	A	健康教育、地区伝達活動講習会などで、対象者に合わせ、食事バランスガイド(厚生労働省と農林水産省策定)等を利用して、普及啓発を実施する。
		2	食を通じたコミュニケーションの推進	家族・仲間が食卓を囲み食事すること(共食)の大切さを広めます。また、家庭において簡単にできる料理や、外食や中食の正しい選択の方法等を普及啓発します。	市民	保健福祉局健康支援課各区健康課	高齢者や妊婦対象の調理実習などで、「電子レンジやフリージングの活用や簡単クッキング等」の内容を取り入れた。	A	各種教室等で、電子レンジやフリージングの活用等を使って、簡単に食事のバランスを整えるための方法を普及する。
		3	朝ごはんをとることの普及啓発	朝ごはんレシピを配布するなど、食育活動の中で普及啓発をします。	市民	保健福祉局健康支援課各区健康課	乳幼児健診、子供料理教室、イベント等において、レシピや媒体を活用し、朝ごはんの大切さについての周知に取り組んだ。	A	各種教室や地区伝達活動等において、レシピカードや媒体、リーフレットを活用し、朝ごはんの大切さを周知する。
		4	野菜をとることの普及啓発	バランスの良い食事をするため、野菜レシピを紹介するなど、野菜のとり方について食育活動の中で普及啓発をします。	市民	保健福祉局健康支援課各区健康課	簡単野菜レシピを作成し、地域のスーパー等での配布を継続した。また、外部ウェブサイトやイベントを活用し、簡単野菜レシピの普及を行った。食生活改善推進員による地区伝達活動等において、野菜レシピの紹介をし、普及啓発を図り、参加者より好評であった。	A	簡単野菜レシピを作成して地域のスーパー等での配布、外部ウェブサイトを活用した、簡単野菜レシピの普及、イベントや健康課事業や地区伝達活動等において、野菜レシピの紹介をし、普及啓発を行う。
		5	若年者を対象とした食育の推進	大学等と連携を図り、若年者をターゲットとした食育活動を展開します。	高校生 大学生等	保健福祉局健康支援課	市内小学生とその保護者を対象とし、市内管理栄養士養成施設の学生の協力を得て、食育情報誌を作成し、食育を推進した。 配布部数53,880部 配布日平成28年12月(H27 51,740部)	A	市内小学生とその保護者を対象とし、市内管理栄養士養成施設の学生の協力を得て、食育情報誌を作成する。 作成部数55,000部 配布予定日 平成29年12月上旬
		6	ワーク・ライフ・バランスの推進	「九都県市仕事と家庭生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進キャンペーン」などを実施し、働き方を見直して家族で食卓を囲む習慣づくりを推進します。	市民	市民局男女共同参画課	・ワーク・ライフ・バランスセミナーを実施した。 実施日：平成29年1月30日(月) 参加者数：94名(H27 77名) ・九都県市全庁一斉定時退庁を実施した。 実施日：平成28年8月3日(水)	A	・ワーク・ライフ・バランスセミナーを実施する。 ・九都県市全庁一斉定時退庁を実施する。
						こども未来局幼保支援課	・全庁一斉定時退庁を実施した。 実施日：平成28年8月3日(水)(H27 8月5日) ・男性の育児休業取得促進奨励金を支給し、男性が育児休業を取得しやすい職場環境の整備を促すとともに、子育て世帯の仕事と育児の両立支援を図った。支給実績2件(H27 3件)	A	・引き続き男性の育児休業取得促進奨励金の支給を行う。周知を強化し、育児休業の取得を促進する。
		7	子どもルームの指導員等への普及啓発	子どもルームを運営する千葉市社会福祉協議会に対し、子どもの望ましい食生活についての情報提供を行います。	千葉市社会福祉協議会	こども未来局健全育成課	子どもルームの「おやつ」について、放課後の時間帯に栄養面や活力面から必要とされるものを適切に提供するよう「放課後児童クラブ運営指針(厚生労働省)」等に基づき、指導した。	A	子どもルームの「おやつ」について、放課後の時間帯に栄養面や活力面から必要とされるものを適切に提供するよう「放課後児童クラブ運営指針(厚生労働省)」等に基づき、指導する。
		8	思春期保健対策事業	思春期の子ども及びその親に対して、思春期の心と体の発達を理解し、自分の体を大切にすることを学ぶ教室を実施します。	思春期の子どもと保護者等	保健福祉局健康支援課各区健康課	思春期の子ども及びその親に対して、思春期の心と体の発達を理解し、自分の体を大切にすることを学ぶ教室を実施した。(思春期教室及びふれあい体験学習) 会場数：49回 参加者数：5,860人(H27 35会場 3,057人)	A	思春期の子ども及びその親に対して、思春期の心と体の発達を理解し、自分の体を大切にすることを学ぶ教室を実施する。
		9	「青少年の日」「家庭・地域の日」の推進	「家庭・地域の日」の取組みの一環として、給食の代わりにお弁当を持参してもらう「お弁当の日」を設けます。	小学生 中学生 保護者	教育委員会保健体育課	市内全小中特別支援学校において、年2回実施した。(お弁当の日は小学校…前期1回と12/22に実施。中学校…10/7、12/22に実施。食の大切さを親子で考えるきっかけとなった。)	A	「家庭・地域の日」の取組みの一環として、家庭における家族でのつながりや親子でふれあう機会を充実させるとともに、食の大切さを親子で考える機会として、年に2回「お弁当の日」を実施しています。
				「青少年の日」である毎年9月の第3土曜日に、「青少年の日フェスタ」を開催し、青少年のコミュニケーション力を高めるとともに、青少年と家庭・地域のつながりを深める機会を提供する中で、お弁当づくり教室、お菓子づくり教室の開催、市内産新鮮野菜の販売など、食を通じての青少年と家庭・地域のつながりを推進します。	市民	こども未来局健全育成課	「青少年の日フェスタ」を生涯学習センターにて開催 実施日：平成28年9月17日(土) 参加者数：4,567人 ①お弁当づくり教室 ・対象：小学4年生～中学生 ・事前申込制、参加者22人 ②市内産新鮮野菜の販売(農政課、園芸協会の協力による) ・対象：来場者	A	「青少年の日フェスタ」を生涯学習センターにて開催予定 実施日：平成29年9月16日(土) 参加者数：5,000人(予定) ①お弁当づくり教室 ・対象：小学4年生～中学生 ・事前申込制、参加者24人(予定) ②市内産新鮮野菜の販売(農政課、園芸協会の協力による) ・対象：来場者

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内容 (計画記載内容)	対象	所管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
		10	災害等の非常時に備えた食に関する普及啓発	食料備蓄の取組み方や献立例など、災害等の非常時に備えた食に関する情報提供や啓発を行います。	市民	総務局 防災対策課	・出前講座:家庭での備蓄について紹介、平成28年4月～11月、19回、約800名(平成27年度12回325名) ・防災ライセンス講座 平成28年10月～12月159名(平成27年度参加者数195名) ・イオン防災啓発イベント:備蓄方法(ローリングストック法)の紹介、平成28年6月、参加者80名 ・エコレシピ指導者講習会:在宅避難とローリングストックについて紹介、平成28年8月 参加者 高校の家庭科教員約16名	A	出前講座、防災ライセンス講座(備蓄食料の紹介、平成29年10月～12月、参加者数240名)等において備蓄の重要性、備蓄方法、備蓄食料の紹介など啓発を図る。
						保健福祉局 健康企画課	ホームページにおいて、備蓄食料品に関する情報を充実させ、啓発に取り組んだ。	A	引き続き、ホームページ等を通じて、備蓄の重要性を啓発する。
						保健福祉局 健康支援課 各区健康課	イベント、地区伝達活動などで、災害時の食の備えについて広く普及啓発を行った。 6会場 639人 (H27 3会場)	A	イベント、地区伝達活動などで、災害時の食の備えについて広く普及啓発を行う。
	(2) 妊産婦と乳幼児等への食育の推進	11	離乳食教室	望ましい食習慣の形成に向けた準備や乳児の咀嚼力を獲得するため、発達に応じた調理形態や食品の選択等について支援します。	生後6～8か月児の保護者	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	生後6～8か月児の保護者を対象に、発達に応じた調理形態や食品の選択等の講話及びデモンストレーションや試食を行う離乳食教室を実施した。 会場数:50回、参加者:1,700人 (H27 50会場 参加者:1,860人) 個票を作成し、個別相談等の対応の充実を図った。	A	生後6～8か月児の保護者を対象に、発達に応じた調理形態や食品の選択等の講話及びデモンストレーションや試食を行う離乳食教室を実施する。(50会場)
		12	母親＆父親学級	「食事バランスガイド」等を活用して、妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について支援します。	初妊婦とそのパートナー	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	1コース3回の1回目に妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について指導を行った。 53会場 受講者数 実921人(H27 1,046人)	A	1コース3回の1回目に妊娠期・授乳期における望ましい食習慣について指導を実施
		13	妊産婦・新生児訪問指導	助産師等訪問指導員が、訪問を希望する妊産婦・新生児の家を訪問し、出産・育児等に関わる様々な相談に応じます。	妊産婦 乳児の保護者	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	訪問指導員が妊産婦・新生児の家庭を訪問し相談を実施した。 妊婦:2人 産婦:2,908人 新生児:3,065人	A	助産師等訪問指導員が、訪問を希望する妊産婦・新生児の家を訪問し、出産・育児等に関わる様々な相談に応じます。
		14	乳幼児健康診査	4か月、1歳6か月及び3歳児健診において、乳幼児とその家族の望ましい食習慣の啓発やニーズに応じた栄養相談等を実施します。	乳幼児 保護者	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	＜4か月児健診(160会場/年)＞ ・受診者数7,206組(H27 7,418人) ・個別相談1,807組(H27 1,937組) ＜1歳6か月児健診(152会場/年)＞ ・受診者数7,516組(H27 7,328組) ・個別相談1,409組(H27 1,259組) ＜3歳児健診(152会場/年)＞ ・受診者数7,559組(H27 7,536組) ・個別相談1,054組(H27 945組)	A	乳幼児健診において、集団指導及び個別栄養相談を実施する。
		15	小児肥満相談	3歳児健診からスクリーニングされた肥満度15%以上の子どもとその家族に対して食事や運動等の相談を実施します。	幼児 保護者	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	3歳児健診当日及び後日に食事や運動などの相談を実施した。 304会場 栄養相談 延516人 (H27 304会場 延494人)	A	3歳児健診当日及び後日に食事や運動などの相談を実施する。
		16	子育て中の保護者への情報提供・相談	子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター、保育所(園)、幼稚園、保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報を提供するとともに、育児や食事の相談に応じます。	乳幼児 保護者	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、ミニ健康教育での情報提供や栄養相談を実施した。 食に関する電話相談 335件 所内相談 667件 (H27 電話相談 236件 所内相談 776件)	A	保健福祉センター等で子育て中の保護者に対し、情報提供や相談を実施する。
					市民	こども未来局幼保支援課	子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター等で、子育て中の保護者に対し、食に関する情報の提供や、育児や食事の相談に応じるとともに、食育に関する講座等を実施した。 開催数36回(H27実績41回、H28計画30回) 参加人数660人(H27 718人)	A	引き続き、子育て支援館、子育てリラックス館、地域子育て支援センター等で子育て中の保護者に対し、食に関する情報の提供や育児や食事の相談に応じるとともに、食育に関する講座等を実施します。 (H29計画 35回)
					市民	こども未来局 幼保運営課	認定こども園、保育所(園)で入所児・非入所児に関わらず子育て中の保護者に対して、地域活動時など随時実施する。食事に関する情報の提供とともに、育児や食事の相談に応じる。(59か所)	A	認定こども園、保育所(園)で入所児・非入所児に関わらず子育て中の保護者に対して、地域活動時など随時実施する。食事に関する情報の提供とともに、育児や食事の相談に応じる。(59か所)
	(3) 健康	17	栄養相談	食生活の見直し、調理方法や工夫の仕方、食事療法等、保健福祉センター等の管理栄養士が個別相談に応じます。	市民	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	保健福祉センターの管理栄養士が個別の栄養相談を実施した。 栄養相談:107件 所内相談:131件 電話相談:65件 (H27 栄養相談:126件 所内相談:117件 電話相談:58件)	A	保健福祉センターの管理栄養士が個別の相談を実施する。

第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表
(平成28年度実績及び評価と平成29年度実施計画)

【平成28年度計画についての実績の評価基準】
A 達成 (計画達成または、計画以上の取り組みができたもの)
B 未達成 (実施したが、計画通りには達成できなかったもの)
C 未実施 (廃止ではないが、実施しなかったもの)
D 事業廃止

資料4

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内 容 (計画記載内容)	対象	所管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
	づくり の た め の 食 育 の 推 進	18	食の実践教室	生活習慣病予防や各ライフステージにおける望ましい食生活の普及啓発を調理実習を通じて行います。	市民	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	生活習慣病予防のための食生活や運動等に関する「食の実践教室」を実施した。 会場数:64回 参加者:802人 (H27 66会場 参加者:884人)	A	生活習慣病予防のための食生活や運動等に関する「食の実践教室」を実施する。
		19	健康教育 健康相談	生活習慣の改善を目的に、管理栄養士や保健師等が、一人ひとりのニーズに応じ、健康に関する正しい知識の普及や、個別相談に応じます。	市民	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	糖尿病予防や骨粗しょう症予防等病態別の健康教育 会場数:225回 参加者延数:10,362人 (H27 253回 13,316人) 栄養・歯科・健康等の個別相談 会場数:2,766回 利用者延数:18,338人 (H27 2,628回 13,464人)	A	生活習慣の改善を目的に、管理栄養士や保健師等が、一人ひとりのニーズに応じ、健康に関する正しい知識の普及や、個別相談に応じます。
	(4) 高齢期における食育の推進	20	介護予防教室 介護予防相談	高齢者の栄養改善、口腔機能の向上、運動器の機能向上等を図るためのプログラムを提供するとともに、日常生活における介護予防の取組みを支援します。	高齢者	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	介護予防に関する教室、講演会等 (H26第6期介護保険法改正に伴い2次予防事業は廃止のため除く) 404会場 延7,819人(食事セミナーを除く) (うち栄養に関する教育 75 回 1612 人) (H27 429会場 延8,250人(食事セミナーを除く)(うち栄養に関する教育 97会場1,736人) 介護予防に関する個別相談 573会場 延2,162人(うち栄養相談 延270人) (H27 583回 利用者延数:2,033人(うち栄養相談 延264人)	A	栄養・口腔・運動等介護予防に関する知識・情報を普及啓発することで、高齢者が自主的に継続して介護予防に取組めるように支援します。
			介護予防教室	高齢者の栄養改善、口腔機能の向上、運動器の機能向上等を図るためのプログラムを提供するとともに、日常生活における介護予防の取組みを支援します。	高齢者	保健福祉局 地域包括ケア 推進課	元気アップ教室 開催回数214回 延べ人員数1,884人	A	介護予防・日常生活支援総合事業への移行により元気アップ教室は平成28年度で終了 平成29年度からは、総合事業のサービスとして「短期リハビリ型通所サービス」を実施する。
		21	食事セミナー	高齢期を健康に過ごすための食生活と運動の実践方法を伝え、実践の継続を支援します。	市民	保健福祉局 健康支援課 地域包括ケア推進課 (各区健康課)	地域の高齢者を対象に、食と運動に関する介護予防教室を実施した。 126会場 延 1,612人 (H27 117会場 延 1,462人)	A	地域の高齢者を対象に、食と運動に関する介護予防教室を実施予定。
	(5) 歯科保健活動における食育の推進	23	ヘルシーカムカムの開催	「歯と口の健康週間」(6月4日～10日)に歯科医師会と共催でイベントを開催し、むし歯や歯周病による歯の喪失予防や口腔機能の維持・向上を推進するための普及啓発を行い、市民の生涯にわたる健全な口腔保健の確立を図ります。	市民	保健福祉局 健康支援課	「歯と口の衛生週間」にH28.5.29(日)そごう千葉店にてヘルシーカムカムを開催 (1,905人)。フッ化物でぶくぶく体験コーナーやかみかみ体操コーナーなどで、幼児期へはむし歯予防と高齢者に口腔機能を高めることや噛むことの大切さを、その他多くのコーナーで口腔衛生・疾病予防の普及啓発を行った。(H27 2,609人)	A	歯や口の疾病予防や、噛むことの大切さ、口腔機能の維持・向上を幅広い年齢層に普及啓発を実施します。
		24	乳幼児期の噛む力、飲み込む力の育成	乳幼児健康診査や2歳児むし歯予防教室、幼稚園等歯みがき指導などの各種歯科保健事業を通じ、乳幼児が正しい口腔機能を獲得するための支援を行います。	乳幼児 保護者	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	乳幼児健診及び母親&父親学級 517回 23,378人(H27 517回23,569人) 乳幼児 歯科相談 445回 3,900人(H27 682回 3,787人) 2歳児むし歯予防教室 235回 2,797人(H27 235回 2,979人) 幼稚園等歯みがき指導 32回1,672人(H27 39回 1,692人) その他の健康教育 135回 2,673人(H27 141回 3,413人)を実施した。	A	乳幼児期から始まる口腔機能の獲得を支援するため、各種歯科保健事業を通じて保護者への知識の普及を実施します。
		25	妊産婦歯科健診	妊産婦に対し、妊娠中と産後に各1回歯科健診を実施し、口腔衛生の普及啓発及び歯科保健の意識向上を図り、歯の喪失を予防します。	妊産婦	保健福祉局 健康支援課	協力歯医療機関(326)にて、妊婦2,404人(32.9%)・産婦 1,876人(26.9%)に健診と口腔衛生の知識の普及を行った。(H27 326医療機関 妊婦 2,551人(32.1%)・産婦 1,858人(24.8%))	A	多くの妊産婦が受診し、歯科保健の意識向上や歯科疾患予防につながるよう、健診受診のメリットのPRを実施します。
		26	口腔ケア事業	歯科医院において口腔機能の評価、必要な相談・指導を行い、高齢者の口腔機能の向上を図ります。	高齢者	保健福祉局 健康支援課 地域包括ケア推進課	一般高齢者を対象者に口腔機能評価・指導を実施した。213人 協力医療機関207(H27 217人 協力医療機関202)H27年度に介護保険法の改正により、対象者が虚弱高齢者で必須から一般高齢者の希望者のみに変更になり受診者が減少した。市政だよりやポスターを作成し、周知に努めた。	B	一般高齢者を対象(基本チェックリストの項目や介護予防歯科事業参加の有無を問わず)に、口腔機能評価・指導を実施し、口腔機能の向上を支援します。
		27	歯っぴー健口教室	高齢者の口腔機能の向上のためのプログラムを提供するとともに、日常的に実践できるよう支援します。	高齢者	保健福祉局 健康支援課 地域包括ケア推進課 (各区健康課)	一般高齢者を対象者に、4回1コースを22回(天候都合により3回1コースを2回)と2回1コースを12コース、計198回 1486人に実施した。 (H27 4回コースを24コース、計120回 1,703人)	A	一般高齢者を対象に、口腔機能向上に関する知識の提供、実習を行うことで、高齢者が自主的に継続して口腔機能の向上に取り組めるように支援する。
		28	学校歯科事業	歯科衛生士が、小・中学校で実施する口腔衛生指導を通じ、噛むことの重要性について普及啓発を図ります。	小学生 中学生	教育委員会 保健体育課	歯科衛生士が、小・中学校で実施する口腔衛生指導を通じ、噛むことの重要性について普及啓発を図った。	A	歯科衛生士が、小・中学校で実施する口腔衛生指導を通じ、噛むことの重要性について普及啓発を図る。

第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表
(平成28年度実績及び評価と平成29年度実施計画)

【平成28年度計画についての実績の評価基準】
A 達成 (計画達成または、計画以上の取り組みができたもの)
B 未達成 (実施したが、計画通りには達成できなかったもの)
C 未実施 (廃止ではないが、実施しなかったもの)
D 事業廃止

資料4

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内容 (計画記載内容)	対象	所管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
	(6) 地域における「食」を学ぶ機会の充実	29	男性料理教室	男女共同参画センターや公民館において、男性を対象に、調理に関する知識や技術を習得するための講座を開催します。	市民(男性)	市民局男女共同参画課	・男性のための料理講座Ⅰ 「初心者でも簡単!魚料理に挑戦」 日時:平成28年4月28日(木)10:00~13:00 会場:男女共同参画センター料理実習室A 参加者数:12名 ・男性のための料理講座Ⅱ 「父子で楽しくピザを作ろう」 日程:平成28年7月30日(土)10:00~12:00(午前の部) 13:30~15:30(午後の部) 会場:男女共同参画センター料理実習室A 参加者数:13名(午前の部) 12名(午後の部) ・男性のための料理講座Ⅲ 「野菜たっぷりのヘルシーな中華丼を作ろう」 日程:平成29年1月29日(日)10:00~13:00 会場:男女共同参画センター料理実習室A 参加者数:12名	A	・男性のための料理講座Ⅰ 「春に華やかでヘルシーないなりパエリアを作ろう」 日時:平成29年4月27日(木)10:00~13:00 会場:男女共同参画センター料理実習室A 募集定員:12名 ・パパカUP講座Ⅰ (父子対象料理・料理未定) 日程:平成29年8月予定 会場:男女共同参画センター料理実習室A 募集定員:父子6組12名 ・男性のための料理講座Ⅱ(料理未定) 日程:平成30年1月予定 会場:男女共同参画センター料理実習室A 募集定員:12名
						教育委員会 生涯学習振興課	公民館で、「男の料理教室」「男のそば打ち入門」などを実施した。 講座数:6講座 80人 (H27 6講座、78人)	A	公民館で、「男の料理教室」「男のそば打ち入門」などを実施する。 講座数:7
		30	食生活改善推進員による地区組織活動支援	地域における食育の推進を担う食生活改善推進員が親子料理教室や食生活改善教室等の地区組織活動を実施します。	市民	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	食生活改善推進員(平成28年4月現在295人)が実施する地区伝達講習会を支援した。会場数 603回 参加者数 16,160人 (H27 会場数:541回 参加者数:15,586人) 健康づくり支援マップに「ヘルシーメニュー」を掲載した。	A	食生活改善推進員(平成29年4月現在290人)が実施する地区伝達講習会を支援する。 健康づくり支援マップに「ヘルシーメニュー」を掲載予定。
		31	公民館での食育講座	市民が利用しやすい、公民館・保健福祉センター等で子どもの調理体験や生活習慣病予防のための食生活等をテーマとした食育講座を実施します。	市民	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	保健福祉センター等で親子料理教室を実施した。 会場数:14回 参加者数:427人 (H27 12会場 参加者数:390人)	A	保健福祉センター等で親子料理教室を実施する。
						教育委員会 生涯学習振興課	公民館で、「親子料理教室」「子どもクリスマスケーキづくり教室」「ヘルシー料理教室」などを実施した。 講座数:119講座 2,236人 (H27 152講座 3,418人)	A	公民館で、「親子料理教室」「子どもクリスマスケーキづくり教室」「ヘルシー料理教室」などを実施する。 講座数:118
		32	ときめきサタディ	千葉市内の小中学生の体験学習や異学年の交流を目的とした「ときめきサタディ」において、千葉市食生活改善推進員等による、お菓子作りや料理教室で健康な食生活に関する講座を開催します。	小学生 中学生 親子	教育委員会 南部青少年センター (生涯学習振興課)	「親子でおいしくておなかが喜ぶデザート作り」(6月11日、23人) 「おいしいおやつ作り」(11月5日、11人) 「親子で太巻き寿司を作ろう」(2月4日、16人) 「おいしいクッキー作り」(2月25日、15人) (H27 4講座、59人)	A	「親子でおいしくておなかが喜ぶデザート作り」(6月10日予定) 「親子でおいしいピザづくり」(9月16日予定) 「親子で太巻き寿司を作ろう」(2月3日予定) 「おいしいクッキー作り」(2月24日予定)
		33	わくわくカレッジ	青少年・一般市民の生活文化向上と健全な仲間づくり及び連帯感の高揚を図ることを目的とした「わくわくカレッジ」において、食生活改善推進員等による食に関する講座を開催します。	青少年 一般	教育委員会 南部青少年センター (生涯学習振興課)	「イタリアン料理入門」(10月30日、9人) (2講座、31人)	A	「イタリアン料理入門」(10月28日予定)
	(7) 食品関連事業	34	健康づくり応援店事業	飲食店等が外食、惣菜、仕出し弁当等に栄養成分表示をするとともに、ヘルシーメニュー、ヘルシーオーダー、健康づくりに係る情報提供、禁煙及び禁煙タイムに取り組めるよう支援します。	市民 飲食店等	保健福祉局 健康支援課 食品安全課	健康づくり応援店を通じて、健康づくりの普及啓発を図るために必要な情報を各店舗に提供し、支援した。 健康づくり応援店の取組について、ホームページに掲載した。 健康づくり応援店 店舗数:242(H27 251店舗)店舗拡充のため各施設への周知を積極的に行ったが、大型店舗の閉店に伴う廃業も多く廃業店舗が上回ったため、店舗拡充が図れなかった。	B	店舗が活用しやすい、健康づくりに係る情報提供の媒体等を提供する。健康づくり応援店の取組について、ホームページに掲載し啓発する。

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内容 (計画記載内容)	対象	所管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
	業者等と連携した食育の推進	35	給食施設指導	給食施設に対して利用者の状態に応じた適切な栄養管理ができるよう必要な援助・指導を実施し、利用者の健康づくりを支援します。	給食施設	保健福祉局 健康支援課 食品安全課	給食施設を巡回し、個別指導を実施した。 給食施設数:562施設(H27 556施設) 個別指導施設数:285施設(H27 187施設) 給食施設従事者を対象とした研修会を開催して集団指導を実施し、知識の向上を図った。会場数:6回 受講者数:702人(H27 6回 634人)	A	給食施設を巡回し、個別指導を実施する。(4～2月)給食施設従事者を対象とした研修会を開催して集団指導を実施し、知識の向上を図る。(6回/年)
		36	プロから学ぶ食育	調理師会等と連携し、専門家等から直接指導を受けることができる料理教室を実施します。	市民	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	調理師会と連携して、料理教室を実施 親子寿司づくり教室 実施回数:1回 参加人数:19名(H27 22名) そば打ち教室 実施回数:1回 参加人数:17名(H27 18名) スイーツ教室は、台風の為に中止となった。	A	調理師会と連携し、プロから学ぶ食育の教室を実施予定(寿司・そば打ち教室・手作りウインナー教室)
2 保育所(園)、幼稚園、学校等における食育の推進	(1)保育活動や教育活動を通じた食育の推進	37	食育計画の作成	「保育所保育指針」や「保育所における食育に関する指針」に基づき、乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるよう保育課程及び指導計画に位置付けられた食育の計画を作成します。	入所(園)児童 保護者	こども未来局幼保運営課	「保育所保育指針」や「保育所における食育に関する指針」に基づき、各認定こども園、各保育所(園)に合った食育計画を作成し実践した。(59か所)	A	「保育所保育指針」や「保育所における食育に関する指針」に基づき、各認定こども園、各保育所(園)に合った食育計画を作成し実践する。(59か所)
		38	保育を通じた食育活動	全職員が専門性を活かし、「食育計画」に基づいて、保護者と連携しながら、子ども一人ひとりの発育・発達に応じた食育を推進します。	入所(園)児童 保護者	こども未来局幼保運営課	「食育計画」に基づいて、楽しく食事をしたり、栽培や調理体験等を行ったりして、子ども一人ひとりの発育・発達に応じた食育を行った。(59か所)	A	「食育計画」に基づいて、楽しく食事をしたり、栽培や調理体験等を行ったりして、子ども一人ひとりの発育・発達に応じた食育を行う。(59か所)
		39	管理栄養士等による個別指導	管理栄養士等と保育士、看護師等が連携し、離乳食や食物アレルギーへの対応、偏食、肥満、マナーなど個別の面接指導を実施します。	入所(園)児童 保護者	こども未来局幼保運営課	管理栄養士等と保育士、看護師等が連携し、離乳食や食物アレルギー等、食事の配慮が必要な子ども一人ひとりの状況に合わせて対応し、肥満、偏食、マナーなど個別指導を実施した。(59か所)	A	管理栄養士等と保育士、看護師等が連携し、離乳食や食物アレルギー等、食事の配慮が必要な子ども一人ひとりの状況に合わせて対応し、肥満、偏食、マナーなど個別指導を実施する。(59か所)
		40	私立幼稚園における食育活動	野菜の栽培、「食育のつどい」への参加など、食に関する体験活動を通じて、食に関する興味・関心や食べ物を大切にすることと感謝の気持ちを育てます。また、楽しく、和やかな雰囲気の中でお弁当や給食をとる環境を整えることで、進んで食べようとする気持ちを育て、望ましい食習慣を形成します。	私立幼稚園の園児	こども未来局幼保支援課	「食育のつどい」に、公益社団法人千葉市幼稚園協会が出展し、幼稚園における食育活動を紹介した。	A	「食育のつどい」に、公益社団法人千葉市幼稚園協会が出展し、幼稚園における食育活動を紹介
		41	食に関する指導(授業)	体育科や家庭科等の年間指導計画に基づき、学級・学科担任等は、栄養教諭・学校栄養職員、企業等と連携し、教科等の特質を生かした授業や、学校給食や食育に関する教材を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さや基礎的・基本的な調理技術、食に関する知識、食文化について指導します。	小学生 中学生	教育委員会 教育指導課	各学校の児童生徒の実態に合わせて教科等ごとに年間指導計画を作成し、発達段階に応じた食に関する指導を計画的に行うよう指導した。各学校では、栄養教諭等と連携して、学校や児童生徒の実態に合わせ、食に関する知識や文化について指導を行った。	A	各学校の児童生徒の実態に合わせて教科等ごとに年間指導計画を作成し、発達段階に応じた食に関する指導を計画的に行うよう指導する。
						教育委員会 保健体育課	各学校の実態に合わせて作成した食に関する指導の全体計画および年間指導計画に基づき、発達段階に応じて学校給食を教材として活用しながら、食に関する指導を各教科等において実施した。	A	体育科や家庭科等の年間指導計画に基づき、学級・学科担任等は、栄養教職員、企業等と連携し、教科等の特質を生かした授業の実践に努めます。学校給食や食育に関する教材を活用し、栄養バランスのとれた食事の大切さや基礎的・基本的な調理技術、食に関する知識、食文化について指導します。
		42	食に関する指導の全体計画の作成	学校における食育は、給食の時間、特別活動、各教科等のさまざまな教育内容に密接に関わっているため、計画的・体系的に指導を行う必要があります。そのため、学校における食育の目標や具体的な取組の方針を示した全体計画を作成します。	小学生 中学生	教育委員会 保健体育課	全体計画を作成していない学校に対しては、研修会等で作成を促すとともに、既に作成している学校については、内容確認等を行い、実態に即した計画になるよう指導を行った。結果、小・中学校全校で作成された。	A	学校における食育は、給食の時間、特別活動、各教科等のさまざまな教育内容に密接に関わっているため、計画的・体系的に指導を行う必要があります。そのため、学校における食育の目標や具体的な取組の方針を示した「食に関する年間指導計画」の作成を小・中学校全校に指導します。
		43	栄養教諭・学校栄養職員の個別的な相談指導	栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭等が連携し、肥満、やせ、偏食、食物アレルギーについての個別的な相談指導を実施します。	小学生 中学生	教育委員会 保健体育課	養護教諭と連携しながら、食物アレルギー、肥満、やせなどの個別的な相談指導を推進した。	A	栄養教職員と養護教諭等が連携し、肥満、やせ、偏食、食物アレルギーについての個別的な相談指導を実施します。
	(2)指導体制	44	職員研修の充実	保育所(園)における魅力ある効果的な食育の推進に向け、管理栄養士等や保育士・看護師等の職員を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導等の研修を行います。食物アレルギーについて正しい知識の普及と「保育所における食物アレルギー対応の手引き」に関する研修を行います。	管理栄養士等 保育士 看護師等	こども未来局幼保運営課	給食担当者を中心に、衛生講習会2回開催、アレルギー対応についての講演を2回行う。(59か所)	A	年間7回の栄養士研修、給食担当者を中心とした、年間2回の衛生講習会、年1回の調理員技能員研修、年1回の用務員技能員研修を行う。(59か所)

第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表
(平成28年度実績及び評価と平成29年度実施計画)

【平成28年度計画についての実績の評価基準】
A 達成 (計画達成または、計画以上の取り組みができたもの)
B 未達成 (実施したが、計画通りには達成できなかったもの)
C 未実施 (廃止ではないが、実施しなかったもの)
D 事業廃止

資料4

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内 容 (計画記載内容)	対象	所管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
	制 の 充 実	44	職員研修の充実	栄養教諭・学校栄養職員や、給食指導主任等を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導、食物アレルギー等の研修を行います。	栄養教諭 学校栄養職員 給食指導主任等	教育委員会 保健体育課	栄養教諭・学校栄養職員を対象とした研修を実施するほか、給食主任を対象とした研修会を開催した。	A	栄養教職員や、給食指導主任等を対象に、栄養管理、衛生管理、食に関する指導、食物アレルギーの研修、食に関する授業の研究を行います。
	(3) 給食を通した食育の充実	45	特色ある 保育所(園)給食	旬の食材を取り入れ栄養バランスのとれた献立を作成し、発達段階に応じた食事形態の給食を実施するとともに、一人ひとりに合った援助をします。 食に関する調査を実施して、子どもの現状を把握し、献立内容の充実および望ましい食習慣へつなげます。	入所(園)児童	こども未来局 幼保運営課	子どもの喫食状況、栄養のバランス、家庭での食事状況を踏まえて、地域の食文化や行事食を取り入れた献立を管理栄養士等が作成し、発達の段階に応じた食事提供を行う。(59か所)	A	子どもの喫食状況、栄養のバランス、家庭での食事状況を踏まえて、地域の食文化や行事食を取り入れた献立を管理栄養士等が作成し、発達の段階に応じた食事提供を行う。(59か所)
		46	特色ある 学校給食	交流給食や行事食、招待給食、バイキング、セレクト給食など、学校ごとに特色ある給食を実施します。	小学生 中学生	教育委員会 保健体育課	学校栄養職員等の研修会において特色ある給食形態の実技研修を行い、実施に当たっての留意点等を確認した。そして、各学校の実態に合わせた取組みをさらに推進した。児童、保護者より好評であった。(小学校フルーツバイキング給食70%リクエスト給食67%)フルーツバイキング給食やリクエスト給食については、研修等も行い更に数値を上げていきたいため、B評価とした。	B	交流給食や行事食、招待給食、バイキング、セレクト給食など、学校ごとに特色ある給食を実施します。
		47	地元農産物を導入した学校給食の実施	新鮮な地元農産物を学校給食の食材料として積極的に取り入れ、地域の食文化や食に関する歴史、地元農業への理解を深めます。食育の日(毎月19日)や市民の日(10月18日)等に、地元農産物を取り入れた特別メニューを実施します。	小学生 中学生	教育委員会 保健体育課	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進した。 小学校・特別支援学校では、年間5回の特別メニューや、年6回の市内産農産物を積極的に組み入れた共通給食を提供し、給食を食材として食育及び地産地消を推進した。家庭で地産地消の会話が増えたと、好評であった。 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用し、中学校では、特別栽培農産物のニンジンなどを利用した。	A	新鮮な市内産農産物を学校給食の食材料として積極的に取り入れ、地域の食文化や食に関する歴史、地元農業への理解を深めます。 食育の日(毎月19日)や市民の日(10月18日)、学校給食週間では、市内産農産物を取り入れた全校統一の献立を年3回実施します。
						経済農政局 農政課	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進した。市内小学校・特別支援学校へ全6回の共通メニューで野菜6品目計9t、中学校へ野菜7品目計73t、新米を10月から12月に小・中学校合わせて189tを供給し、食育及び地産地消を推進した。 地元農産物導入品目7品目 (天候不順のためブロックリー未供給)	B	市内産農産物の利用を推進するため、中学校・小学校・特別支援学校において、学校給食センターやJA、卸売会社などと連携して市内産農産物を導入する。 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用する。 地元農産物導入品目予定 8品目
	(4) 農業体験や食推進の調理等の体験活動	48	栽培・収穫体験	乳幼児が栽培・収穫活動を体験し、野菜を見たり育てたりする喜びを実感することで「食」への興味を育てます。	入所(園)児童	こども未来局 幼保運営課	各認定こども園、保育所(園)に応じた栽培・収穫活動を実施し、育てることの喜びを実感し、「食」への興味を育てていく。(59か所)	A	各認定こども園、保育所(園)に応じた栽培・収穫活動を実施し、育てることの喜びを実感し、「食」への興味を育てていく。(59か所)
		49	クッキング保育 (調理体験)	食材に目を向け、自分でかかわった料理を食べる楽しさやうれしさを体験し、調理することに関心をもつようにします。	入所(園)児童	こども未来局 幼保運営課	皮むきやすじ取り等の食事作りに関わることで、食に関する興味・関心を高め、食べ物への感謝の気持ちを育てる。(59か所)	A	皮むきやすじ取り等の食事作りに関わることで、食に関する興味・関心を高め、食べ物への感謝の気持ちを育てる。(59か所)
		50	農業体験	農業体験等を通して、自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深められるようにします。	小学生 中学生	教育委員会 指導課	各学校の年間指導計画に基づき、発達段階に応じた食に関する指導を行った。実際に野菜を育てることで、嫌いな野菜への抵抗感を抑えることができた。	A	各学校の年間指導計画に基づき、発達段階に応じた食に関する指導を行う。
		51	小学生の農山村留学事業	現地校との交流・地域の家庭へのホームステイ・自然体験・登山・炭焼き・野菜の収穫・樹木の伐採、枝打ち等、地域の特色を生かした体験活動の中で、作物の収穫、収穫したものを使った調理、その地域の郷土料理づくりなどをとおして食に関する理解の促進を図ります。	小学生	教育委員会 指導課	現地校との交流・地域での民泊・自然体験活動・農林漁業体験における野菜の収穫・樹木の伐採、魚釣り等、地域の特色を生かした体験活動の中で、作物の収穫、収穫したものを使った調理、その地域の郷土料理づくりなどをとおして食に関する理解を図った。	A	現地校との交流・地域での民泊・自然体験活動・農林漁業体験における野菜の収穫・樹木の伐採、魚釣り等、地域の特色を生かした体験活動の中で、作物の収穫、収穫したものを使った調理、その地域の郷土料理づくりなどをとおして食に関する理解の促進を図る。
	(5) 保護者	52	給食の展示	給食について親子で話し、食に関心を持ってもらうことや、子どもが食べる食事量の目安になるよう、保育所(園)で給食を展示し、作り方等を紹介します。	入所(園)児童 保護者	こども未来局 幼保運営課	年間を通じて食事内容の展示を行う。(実物展示の休止期間中は保育所(園)で方法を工夫する。)レシピや掲示物などコーナーの内容についても工夫して実践する。(59か所)	A	年間を通じて食事内容の展示を行う。(実物展示の休止期間中は保育所(園)で方法を工夫する。)レシピや掲示物などコーナーの内容についても工夫して実践する。(59か所)
		53	ホームページでの情報提供	食育ホームページ“おいしい!元気!ちばキッズ”で、離乳食・幼児食のレシピや保育所での食育活動の様子などの情報を発信します。	市民	こども未来局 幼保運営課	保育所の献立(食べよう!旬のやさい)のレシピ紹介、こどもの食事Q&Aについて更新する。また、離乳食や食具の使い方についての情報を更新する。レシピ紹介12回/年 Q&A及び情報の更新2回/年(目標年4回)	B	保育所の献立(あると便利な乾物レシピ)のレシピ紹介、こどもの食事Q&Aについて更新する。また、離乳食や食具の使い方についての情報を更新する。レシピ紹介12回/年 Q&A及び情報の更新4回/年

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内容 (計画記載内容)	対象	所管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
	戸への普及啓発・地域との連携	54	食育だよりなどを通じた情報提供	お弁当のメニューや家庭での食事など健全な食生活に役立つ情報のPRを行います。	保護者	こども未来局 幼保運営課	食事の大切さ、共食、生活リズムなど様々な情報を提供する。(59か所)	A	食事の大切さ、共食、生活リズムなど様々な情報を提供する。(59か所)
						教育委員会 保健体育課	給食だよりや給食試食会等を活用して情報提供を行った。試食会は、全校で行われた。試食会参加者より好評であった。	A	お弁当のメニューや家庭での食事など健全な食生活に役立つ情報のPRを行います。
		55	家庭配付献立表を活用した情報提供	家庭での食育の関心を高めるため、献立表に、旬の食材を使ったレシピや、郷土料理の紹介など、食育に関する情報提供を行います。	保護者	こども未来局 幼保運営課	毎月保護者に配付する献立表に和食を紹介するミニコラムと、19日の食育の日の献立のレシピ紹介を掲載する。(12回/年)	A	毎月保護者に配付する献立表に「もっと食べよう、魚・貝料理」を紹介するミニコラムと19日の食育の日の献立のレシピ紹介を掲載する。(12回/年)
						教育委員会 保健体育課	給食だよりや給食試食会、ホームページ等を活用して情報提供を行った。	A	家庭での食育の関心を高めるため、献立表に、旬の食材を使ったレシピや、郷土料理の紹介など、食育に関する情報提供を行います。また、旬の市内産食材の紹介やレシピを掲載した資料を家庭に配布します。
	(1) 市内産農畜産物への理解の促進	57	千葉市産農産物生産者認証制度	土壌診断の定期的な実施、農薬の適正使用の遵守、生産履歴の記帳、堆肥の利用等、市独自の基準を満たした生産者を認証します。	農業者	経済農政局 農政課	千葉市産農産物生産者認証者数 184名から181名に減少	B	千葉市産農産物生産者認証者数候補を掘り起し認証に結び付ける。
		58	市内産農畜産物の認知度の向上	市民公募・市民投票で決定した「地産地消シンボルマーク」を千葉市産農産物生産者認証制度の認証マークとして活用し、市内産農産物の認知度を高めます。	市民	経済農政局 農政課	市内産農産物が身近な飲食店で食べられるよう「千葉市つくたべプロジェクト」を始動し、千葉市産農産物生産者認証者と市内飲食店をマッチングさせた。また、区役所朝市で認証者の農産物を販売することで市内産農産物の販売促進を行い認知度を高めた。	A	市内産農産物が身近な飲食店で食べられる環境の整備。区役所朝市で認証者の農産物を販売することで市内産農産物の販売促進を行い認知度を高める。
		59	市内産農畜産物のブランド化の推進	ブランド化の可能性を検討するため、古くから地域で生産される野菜等を調査するほか、新品目の栽培試験を行います。	農業者	経済農政局 農政センター 農業生産振興課	緑区土気町、下大和田町で古くから生産されている土気カラシナの種採りを行った。	A	緑区土気町、下大和田町で古くから生産されている土気カラシナの種保存のため、種採りを行う。
		60	生産者による出張授業	生産者が小学校などを訪問し、市内産農産物の栽培から収穫・出荷までの仕事や、食の大切さなどについて授業を実施し、子どもたちの「食」と「農」に対する関心と理解を深めます。	小学生	経済農政局 農政課	生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施した。 5月 春夏ニンジン 10月 牛乳 11月 キャベツ 11月 コマツナ 1月 秋冬ニンジン 2月 牛乳 実施回数 6回(H27.5回) これまでの出張授業の資料を見直し、理解度向上につなげた。	A	生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施する。 5月 春夏ニンジン 10月 牛乳 11月 キャベツ 11月 コマツナ 1月 秋冬ニンジン 2月 牛乳 実施予定回数 6回
						教育委員会 保健体育課	生産者による出張授業及び児童と生産者との給食の会食を実施した。出張授業には、保護者の参加もあった。「家庭でその食材を使う料理が増えた。」と児童・保護者より好評であった。	A	生産者が小学校などを訪問し、市内産農産物の栽培から収穫・出荷までの仕事や、食の大切さなどについて授業を実施し、子どもたちの「食」と「農」に対する関心と理解を深めます。
		61	千葉市地産地消推進連絡会議の実施	市内産農畜産物の安定的な生産と供給、生産者と消費者の交流促進、「食」や「農」に関する情報収集・提供など地産地消の推進に取り組めます。	生産者 農業団体 消費者団体 流通関係者	経済農政局 農政課	千葉市地産地消推進連絡会議は実施しなかったが、本会議に所属する各団体との関係性により、学校給食への供給や「千葉市フェア」の開催、各種イベントを通じ、地産地消の推進に取り組んだ。	B	参加団体との連携を密にし、市内産農畜産物の安定的な生産と供給、生産者と消費者の交流促進、「食」や「農」に関する情報収集・提供など地産地消の推進に取り組めます。

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内 容 (計画記載内容)	対象	所管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
3 地産地消の推進・環境にやさしい食育の推進	(2) 地産地消の推進	62	地産地消キャンペーンの開催	新鮮で安全安心な農畜産物を、より多くの市民にPRし、「食」や「農」に対する関心を高めるために、各種イベント会場や販売店等で千葉市の農業の紹介や農畜産物の展示即売キャンペーンを開催します。	市民	経済農政局 農政課	地産地消推進キャンペーンとして以下の事業に参加し、千葉市農業のPRや市内産農産物の展示即売などを実施した。 ①イオン千葉市フェア(4月、10月、11月2回) ②「食育のつどい」 ③市原フルーツフェスタ ④千葉市スペシャルデー ⑤そごう千葉市・市原市・四街道市連携キャンペーン ⑥コミュニティまつり ⑦千葉湊大漁まつり ⑧わくわくヘルスアップ美浜 ⑨四街道産業まつり ⑩千葉市イチゴキャンペーン 他に区役所朝市や幼稚園でのふれあい市にて生産者による農産物の販売を実施	A	地産地消推進キャンペーンとして以下の事業に参加し、千葉市農業のPRや市内産農産物の展示即売などを実施する。 ・イオン千葉市フェア(4月、12月) ・「食育のつどい」 ・市原フルーツフェスタ ・千葉市スペシャルデー ・そごう千葉市・市原市・四街道市連携キャンペーン ・コミュニティまつり ・千葉湊大漁まつり ・わくわくヘルスアップ美浜 ・四街道産業まつり 他に区役所朝市や幼稚園でのふれあい市などを実施予定
		63	市内産農産物の販売促進	市民に市内産農畜産物を購入してもらうため、直売所や観光農園でのもぎ取りなどのほか、スーパーなどの販売店での市内産農畜産物販売コーナーの設置を推進します。	生産者 農業団体 流通関係者	経済農政局 農政課	市内生産者と市内飲食店の流通を促進するため農産物流通実証実験を実施し、域内流通の確立に向けた検証を行うとともに、生産者と飲食店とのマッチングを拡大させた。 マッチング飲食店数 20店(H27.6店) 各種小売り業者へ生落花生「おおまさり」の販売に向けた働きかけを行った。 イオン会見本市への出展支援をし、2事業者が参加した。	A	市内飲食店で市内農産物を活用できるよう、自主事業化による流通システムの構築を目指す。
		64	地産地消の情報提供	直売所や観光農園の紹介など地産地消に関する様々な情報をホームページ、ソーシャルメディアなどを活用して提供します。	市民	経済農政局 農政課	地産地消ホームページを適時更新することで、市内産農産物の情報を消費者に積極的に発信した。	B	地産地消ホームページを適時更新することで、市内産農産物の情報を消費者に積極的に発信する。
		65	旬の農産物の紹介	市内産農産物の旬を紹介し、市内農産物のPRに努めます。	市民	経済農政局 農政課	・地産地消ホームページを適時更新し、市内産農産物の情報を消費者に積極的に発信した。 ・イオンやそごうでの販売等を通して、積極的に旬の市内産農産物を紹介した。 イオン千葉市フェア:4月、10月～11月 そごう3市フェア:9月 そごう千葉市フェア:10月 (H27,イオン千葉市フェア5月、10月) ・食育のつどい、大漁まつりにて旬の野菜当てクイズを行い、認知を拡大した。	B	地産地消ホームページを適時更新し、市内産農産物の情報を消費者に積極的に発信する。 イオンやそごうでの販売等を通して、積極的に旬の市内産農産物を紹介する。
		66	給食への市内産農産物の導入	小・中学校等における給食での市内産農産物の利用拡大を図ります。	小学生 中学生等	経済農政局 農政課	関係機関と連携して市内産農産物の利用を推進した。市内小学校・特別支援学校へ全6回の共通メニューで野菜6品目計9t、中学校へ野菜7品目計73t、新米を10月から12月に小・中学校合わせて189tを供給し、食育及び地産地消を推進した。 地元農産物供給品目7品目 天候不順のためブロッコリーを使うことができなかった。 B評価は、ブロッコリーの使用ができなかったため。	B	市内産農産物の利用を推進するため、小学校・特別支援学校において、特別メニューや共通給食に合わせて、JAや卸売会社などと連携して市内産農産物を供給する。 10月から12月には千葉市産のコシヒカリを米飯給食に使用する。 地元農産物供給品目予定 8品目
						教育委員会 保健体育課	関係機関と連携して積極的に市内産農産物の使用を推進した。給食で話題にし、児童の食に関する指導の機会となった。 天候の都合でブロッコリーを使うことができなかった。	B	小・中学校等における給食での市内産農産物の利用拡大を図ります。
	(3) 生活	67	ふるさと農園事業	農作物の生産や加工、実習を通して土や自然に親しみ、農業に対する理解を深めるとともに、都市部と農村部の情報交換、ふれあいの場を提供します。	市民	経済農政局 農政センター 農業経営支援課	農業体験教室等受講者数 2,642人 (2,539人)	A	平成28年度と同様

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内 容 (計画記載内容)	対象	所管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
	産 者 と 消 費 者 と の 交 流 と 体 験	68	市民農園・体験農園・ 観光農園の整備と利用促進	生産から収穫まで、気軽に市民が農業に接することができる場として、市民農園・体験農園・観光農園の整備を推進します。	市民	経済農政局 農政課	市民農園35か所、観光農園26か所の情報を提供した。 ・市民農園利用者数1,627人(H27 1,587人) ※H28より中田都市農業交流センターの利用人数を加算 利用率 79.8% (H27 75.6%) ・観光農園数26か所 (H27 27か所) 入園者数 人 (H27 75,842人) ・体験農園数4か所 (H27 4か所) 利用者数296人 (H27 322人) ・バリアフリートイレ設置農園数 9か所 (H27目標 9か所) ・市民農園栽培アドバイザー派遣 2回(新規) イオンチアーズクラブファーマーズプロジェクトを富田さとにわ耕園(富田都市農業交流センター)にて企画していただき、活動支援を7回実施した。 延べ参加者1000人	A	市民農園34か所、観光農園26か所の情報を提供する。 観光農園の利用率向上のためキャンペーン等を実施する。
	(4) 地元でとれる農畜産物を活かした料理の普及	69	郷土料理の普及啓発	食生活改善推進員の地区組織活動やホームページを利用し、地元で生産される食材を活かした料理の普及を図り、地産地消を推進します。伝統料理や郷土料理の掘り起こしと普及啓発を推進します。	市民	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	食生活改善推進員の地区伝達活動等において、太巻き寿司講習会を開催し、郷土料理の普及を進めた。	A	食生活改善推進員の地区伝達活動等において、太巻き寿司講習会や、地場産の食材を使った調理実習などを実施予定。
		70	下田農業ふれあい館 (下田都市農業交流センター)	地元で生産された新鮮で安全安心な農畜産物等の販売や、地元農畜産物を活用した料理の提供を通じ、都市部と農村部の市民交流を促進し、農業の振興を図ります。	市民	経済農政局 農政センター農業 経営支援課	・利用者数 農産物直売所 60,286人 (60,122人) レストラン 10,972人 (10,941人) 合計 71,258人 (71,063人) *レジ通過者数で算出 ・新商品「ベジタ棒」3種を開発・販売	A	来客増に向けたPR活動を行う。 新作メニューの研究開発に取り組む。
		71	千葉市地産地消推進 業務委託	市民等に対し、市内産農産物に関する消費拡大啓発や料理講習会、収穫体験を実施することにより、市内産農産物を認識してもらうとともに、農業や食に対する理解を深めます。	市民	経済農政局 農政課	落花生親子一日農家体験を2回実施 いもち教室、土気からし菜漬物教室をそれぞれ2回実施 千葉市イチゴキャンペーンの実施 イオンチアーズクラブファーマーズプロジェクトの支援を7回実施	A	農業や食に対する理解を体験により深めてもらうため、親子一日農家体験や伝統野菜の料理教室を実施する。
3 地産地消の推進・環境にやさしい食育の推進	(5) 環境にやさしい食育の推進	72	エコ料理の普及啓発	一人ひとりが「買い物」「料理」「片づけ」において環境を考えた食生活を送れるよう、食材やエネルギーの無駄を減らす「エコ料理」の普及啓発するためにエコレシビ料理講習会を実施します。	市民	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	地区研修、地区伝達、各種教室において、エコ(食材やエネルギーの無駄を減らす)についての普及啓発に努めた。 93会場 延参加者 2,800人	A	地区研修、地区伝達、各種教室において、エコ(食材やエネルギーの無駄を減らす)についての普及啓発に努める。
					市民	環境局 廃棄物対策課	エコレシビ料理講習会開催 2回 計77人 (H27 2回 計62人) エコレシビ指導者講習会 1回 16人 H28年度は新たに家庭科教員向けの指導者講習会を実施し、学校の調理実習でエコレシビを取り入れてもらえるよう促した。	A	高校2校で実施するとともに、家庭科の教員を対象に実施し、講習会の内容を授業で取り上げてもらうことでエコレシビの普及促進を図ります。
		73	3R教育・学習の推進 Reduce(発生抑制) Reuse(再利用) Recycle(再生利用)	幼児用・小学生用の3R啓発教育図書を活用するとともに、ごみの分別方法や再資源化について、保育所等での未就学児への啓発や小学校での「ごみ分別スクール」において食べ物を大切にすることを伝えます。	幼児 小学生 保護者	環境局 廃棄物対策課	分別スクール実施 市内全小学校113校 8,408人参加 (H27 市内全小学校113校 8,250人)	A	市内全小学校112校 8,333人を対象に実施します。
		74	生ごみの減量・再資源化の推進	生ごみ減量処理機や肥料化容器の普及、生ごみの再資源化(メタンガス化等)の促進など、食べ残しや食品廃棄等により発生する生ごみの減量や再資源化に効果的な取り組みを推進します。	市民	環境局 廃棄物対策課	・生ごみ減量処理機等購入助成 補助金交付 331(272)基 生ごみ減量処理機 129(97)基 生ごみ肥料化容器 195(175)基 ・生ごみ分別収集特別地区事業 2,760世帯 225トン	A	生ごみ減量処理機等の購入助成を行うとともに、4地区2,760世帯で生ごみ分別収集特別地区事業を実施します。
		75 ①	生ごみ資源化アドバイザーの養成・派遣	生ごみ資源化アドバイザーを養成・派遣して、効果的な資源化を推進します。	市民	環境局 廃棄物対策課	養成講座 1回、登録人数 107人、派遣回数 9回 (H27 養成講座 1回、登録人数 111人、派遣回数11回)	A	養成講座を1回実施するとともに、地域へアドバイザーを派遣します。

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内 容 (計画記載内容)	対象	所 管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
進		75 ②	学校における 食品ロス削減の啓発	【H27新規事業】 人間形成に多大な影響を与える少年期において、食品ロスの現状を認識して食べ物を大切にする習慣づけを促すとともに、児童・生徒をもつ各家庭への間接的な波及を図るため、小・中学校において食品ロス削減の普及啓発を実施します。	小学生 中学生	環境局 廃棄物対策課	市立小学校112校、市立中学校55校において次の事業を実施しました。 ・食べきり啓発ポスターの掲出 ・校内放送での呼びかけ ・「給食だより」への記事掲載(小学校のみ)	A	市内小・中学校と連携し、食品ロス削減の普及啓発を実施します。
		76	環境にやさしい 農業の推進	農業の環境への負荷を軽減するため、農薬や化学肥料を削減した環境にやさしい農業を推進します。	農業者	経済農政局 農政センター農業 生産振興課	土づくりと適正な施肥のため土壌診断1032件を実施した。	A	土づくりと適正な施肥のため土壌診断約1300件実施する。また、土壌に関する専任アドバイザーを設置し、現行の化学性診断に加え、物理性の診断を行う。
4	食の安全・安心に関する情報の提供	77	食に関する講座の実施	講座等を開催し、食に関する知識の普及啓発を図ります。	市民	市民局 消費生活センター	・平成29年1月24日に消費生活講座「食育を学ぼう～楽しく食べて、健康に！～」を開催し、18人が参加した。(平成27年度は食に関する講座2回を開催し、109人の参加があった。)	A	講座等を開催し、食に関する知識の普及啓発を図ります。
		78	食品衛生に関する講習会の実施	事業者や従業員向けの講習会を実施するほか、市民等からの依頼に職員を派遣し、食品衛生に関する知識の普及啓発を図ります。	市民 食品関係事業者	保健福祉局 生活衛生課	○営業者、消費者等を対象とした衛生講習会の実施 ・営業者等対象の衛生講習会の実施 71回3497名 ・消費者対象の衛生講習会の実施 3回64名	A	営業者、消費者等を対象とした衛生講習会の実施
		79	リスクコミュニケーションの推進	食の安全に関する講演会、食品衛生監視指導計画に関する意見交換会等を実施します。	市民 食品関係事業者	保健福祉局 生活衛生課	①食の安全に関する講演会・意見交換会の実施 ・実施日:2月1日 ・場所:千葉市総合保健医療センター 5階 大会議室 ・講演名:「健康食品の正しい理解と利用方法について」 ・講演者:国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 情報センター 健康食品情報研究室 研究員 佐藤 陽子 ②平成29年度千葉市食品衛生監視指導計画(案)に係るパブリックコメント手続きの実施 ・期間:1月1日～2月7日 ・意見:1人から12件	A	○食の安全に関する講演会及び平成30年度千葉市食品衛生監視指導計画(案)に関する意見交換会の実施 平成30年1月頃 ○平成30年度千葉市食品衛生監視指導計画(案)に係るパブリックコメント手続きの実施 平成30年1月～2月
	(1)食品の安全性に関する情報の提供	80	ホームページ等による情報提供	ホームページ、情報紙、パンフレットなど各種媒体を用いて食品の安全等に関する情報提供を迅速かつわかりやすく提供します。	市民 食品関係事業者	保健福祉局 生活衛生課	①食品の放射性物質関係情報 ・食品の放射性物質検査結果 50回 ②食品衛生法違反者の公表 ・違反者公表(食中毒事件) 3回 ③市内流通違反食品回収に伴う対応 0回 ④食品の自主回収情報 9回 ⑤食品衛生に係る最新情報 ・国、県からの通知に基づく注意喚起等 8回 ・カンピロバクターによる食中毒に注意しましょう ・米国のダイエタリーサプリメント「DHZC-2 Tablet」の利用に注意しましょう ・腸管出血性大腸菌O157による食中毒 ・加熱調理を前提とした食品による食中毒の予防について ・ヒスタミン食中毒に注意しましょう ・クドア食中毒に注意しましょう ・ジビエ(野生鳥獣の肉)による食中毒に注意しましょう ・植物由来製品による健康被害(疑い)について ⑥監視指導計画 ・パブリックコメント手続きの実施(監視指導計画の策定) ・食中毒注意報・警報の発令 ・食中毒予防パレードの実施 ・年末特別監視の実施	A	①食品の放射性物質関係情報 ②食品衛生法違反者の公表 ③食品の自主回収に係る情報 ④食品衛生に係る最新の情報 ⑤監視指導関係

第2次千葉市食育推進計画 取組み一覧表
(平成28年度実績及び評価と平成29年度実施計画)

【平成28年度計画についての実績の評価基準】
A 達成 (計画達成または、計画以上の取り組みができたもの)
B 未達成 (実施したが、計画通りには達成できなかったもの)
C 未実施 (廃止ではないが、実施しなかったもの)
D 事業廃止

資料4

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内容 (計画記載内容)	対象	所管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
		80	ホームページ等による情報提供	ホームページ、情報紙、パンフレットなど各種媒体を用いて食品の安全等に関する情報提供を迅速かつわかりやすく提供します。	市民	市民局 消費生活 センター	・暮らしの情報いずみ7月号で加工食品等の食品表示に関する情報提供を実施した(1回)。(H27:1回)※7月号:機能性表示食品・食中毒 H27.4.1に食品表示法が施行されたことに伴う食品表示の変更の他、H28.4.1から開始した新しい製造所固有記号制度に関する案内など、タイムリーな情報を掲載した。 ・食の安全(家庭菜園等における有毒植物による食中毒等)についての情報をホームページに掲載し、注意喚起を行った(3件)。(H27 4件) ・暮らしの情報いずみ特集号において地産地消に関する記事を掲載した。(H27実績なし) ・健康支援課発行の食育情報誌に食をテーマとした消費者教育の記事を寄稿した。(H27も寄稿したが食に関する記事は掲載していない。)	A	ホームページ、情報紙、パンフレットなど各種媒体を用いて食品の安全等に関する情報提供を迅速かつわかりやすく提供します。
		81	食品衛生監視指導計画策定・結果公表	保健所等が実施する食品営業施設等の立入検査や食品、添加物等の試験検査について年間計画を策定し、その結果を公表します。	市民 食品関係事業者	保健福祉局 生活衛生課	食品衛生監視指導計画に基づく監視指導及び検査の実施 ・監視指導件数 要許可施設 10,080件 不要許可施設 12,750件 ・検査結果 検体数 795検体 検査項目数 22,963検体 ○監視指導計画の策定及び実施結果についてホームページにて公表	A	・平成28年度食品衛生監視指導計画実施結果の公表 ・平成30年度食品衛生監視指導計画策定のためのパブリックコメント手続の実施及び計画の公表
		82	食品衛生に関する広報活動の実施	食中毒予防パレード、市政だより等により、食品衛生に関する広報活動を実施します。	市民 食品関係団体 食品関係事業者	保健福祉局 生活衛生課	○市政だよりへ、食品衛生夏期対策期間等を掲載 ・6月1日号及び8月1日号に掲載 ○広報車による広報活動(食中毒パレード) 広報車 食中毒パレード 8月4日 (5台の広報車で市内一円を巡回) ○消費者対象の衛生講習会の実施 ・消費者対象の衛生講習会を実施 3回64名	A	・市政だよりに食品衛生夏期対策期間等を掲載 ・市内を広報車でまわる食中毒予防パレードの実施 ・食中毒注意報、警報の周知
		83	自主的な衛生管理体制の推進	食品衛生推進員による巡回指導、事業者による食品の自主検査の実施など自主的衛生管理の推進を図ります。	市民 食品関係事業者	保健福祉局 生活衛生課	○食品衛生推進員による食品営業施設の巡回指導 ・食品衛生推進員に、食品営業施設等の巡回指導を実施させ食品関係団体等における自主管理体制の推進に努めた。 延べ活動人数 111人 延べ自主管理指導施設 1741施設	A	○食品衛生推進員による食品営業施設等の巡回指導
	5 食育推進運動の展開と連携・協力体制の確立	84	食育のつどい	毎年6月に関係機関・団体と連携したイベント「食育のつどい」を開催します。	市民 関係機関・団体等	保健福祉局 健康支援課	千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会の団体の協力を得て、食育の普及啓発を実施。 ①講演会 平成28年6月20日(月)13:30～15:30 総合保健医療センター5F大会議室 参加者269人 (H27 233人) ②イベント 実施日:平成28年6月25日(土)10時～17時 会場:イオンモール幕張新都心 ファミリーモール 参加者数(延):8,369人 (H27 6,315人) 内容:食育の普及啓発 10ステージ、展示12コーナー	A	千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会の団体の協力を得て、食育の普及啓発を実施。 イベント 実施日:平成29年6月11日(土)10時～17時 会場:イトーヨーカドー幕張店 内容:食育の普及啓発 10ステージ、展示10コーナー
		85	市民健康づくり大会	体育の日から始まる一週間の「市民健康づくり週間」に、健康づくり運動の推進団体と連携して、栄養・食生活等をテーマに「市民健康づくり大会」を開催します。	市民	保健福祉局 健康支援課	・千葉県栄養士会がバランスのとれた食事内容をパネルや模型を使って紹介した。また、病気の予防と治療に関する食事の相談を行った。 ・親子料理教室を開催し、食育の大切さを伝えた。食生活改善協議会がバランスの良い食事の紹介の他、野菜350gの計量や非常食の展示を行った。 会場入場者数:2,450人(延べ:7,380人)	A	バランスのとれた食事内容の紹介や病気の予防と治療に関する相談を行う予定である。 また、視覚で捉えられるよう野菜の摂取量や災害時の非常食の展示を行い、普及啓発を行う予定である。
		86	食育総合ホームページの充実	ホームページにおいて保育所(園)・幼稚園・学校や関係機関・団体等の取組み、食の安全、地産地消、健康づくりなど食育に関する情報を提供します。	市民	保健福祉局 健康支援課	幼保運営課で「おいしい!元気!ちばキッズ」、農業生産振興課で「千葉市の食と農をつなぐページ ようこそ!地産地消推進ページ」を公開。健康支援課と健康課の食育に関するホームページをリンクした。	A	幼保運営課で「おいしい!元気!ちばキッズ」、農業生産振興課で「千葉市の食と農をつなぐページ ようこそ!地産地消推進ページ」、健康支援課でも食育に関するホームページを公開。

基本 施策	市の取 り組み	No	関連事業	内 容 (計画記載内容)	対象	所管	28年度実績 前年度実績は(括弧)書き	28年度 実評価	29年度実施計画
	の 確 立	87	地域食生活 連絡会	地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。	保育所(園)・幼稚園・学校保健福祉センターの管理栄養士等と食生活改善推進員等	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	各区保健福祉センターにおいて、食育の取り組みについての情報交換や食育教材・献立の作成等を実施した。 会場:7回 参加者:252人 (H27 7回 264人)	A	各区保健福祉センターにおいて、食育の取り組みについての情報交換や食育教材・献立の作成等を実施予定。
			地域食生活 連絡会	地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。	保育所(園)・幼稚園・学校保健福祉センターの管理栄養士等と食生活改善推進員等	こども未来局 幼保運営課	保育所(園)、認定こども園、学校、保健(福祉)センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会を開催。食育の取り組みについての情報交換を行う。	A	保育所(園)、認定こども園、学校、保健(福祉)センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会を開催。食育の取り組みについての情報交換を行う。
			地域食生活 連絡会	地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。	保育所(園)・幼稚園・学校保健福祉センターの管理栄養士等と食生活改善推進員等	教育委員会 保健体育課	保育所(園)、学校、保健(福祉)センターの管理栄養士等と食生活改善推進員をメンバーとする地域食生活連絡会においてそれぞれの食育の取り組みについての情報交換や食育教材・献立の作成等を行った。活発な情報交換により、情報を共有する事が出来た。	A	地域における食のネットワークづくりを目的に「地域食生活連絡会」を開催します。食育の取組みについての情報交換や、食育教材・献立の作成等を行います。
		88	地域健康づくり 支援ネットワーク事業	医療機関をはじめとする関係機関や地域住民等で構成する「地域健康づくり支援連絡会」を開催し、健康づくり情報や健康課題を共有し、市民への働きかけを行います。また、バランスのよい食事のとり方や生活習慣病予防等について掲載した「健康づくり支援マップ」を作成し、普及啓発を行います。	市民	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	・地域の関係者等による情報共有と啓発方法の検討等を行う「区地域健康づくり支援連絡会」を、6区にて2回/年、計12回開催した。 ・各区の特性を踏まえ、健康づくり情報を掲載した「健康づくり支援マップ」を作成し、区民の健康づくりの情報として発信した。	A	・地域健康づくり支援連絡会を各区2回ずつ、計12回実施予定である。 ・健康づくり支援マップを作成配布し、区民の健康づくりに活用する予定である。
		89	地域・職域連携推進 事業	働き盛り層の健康づくり推進のため、市内の事業所を対象に、健康診査受診率の向上・生活習慣病の予防をはじめとした食育を含む健康づくりについて、地域と職域に関わる組織が連携し、情報発信を行います。	市内事業所	保健福祉局 健康支援課	・働き盛り世代の健康にかかわる各関係機関の活動及び健康課題等の共有を図るための連携推進部会を開催した。 ・健康づくりに取り組んでいる事業所の認証や、事業所で働く従業員向けのパンフレットを作成し、啓発に努めた。健康づくり推進事業所数28事業所(H27:16事業所) ・中小企業等の事業所へ出向き、メンタルヘルスや運動等の講座・実践を行った。6件(H27:3件)	A	・H29は市健康づくり推進協議会にて、委員の改選が予定されている。その後、「地域・職域連携推進部会」を1回開催する予定である。 ・健康づくり推進事業所の認証に関するパンフレットを作成し、関係機関等への啓発に取り組む予定である。
		90	食生活改善推進員の 養成・育成	食を通して地域の健康づくりのためのボランティア活動を行う食生活改善推進員の養成・育成を行います。	市民	保健福祉局 健康支援課 各区健康課	稲毛保健福祉センターで食生活改善推進員養成を開催した。 修了者人数:18人 6会場 参加者 延111人(H27 23人) 養成講座のカリキュラムの見直しを行う等、養成・育成の充実を図った。	A	緑保健福祉センターで食生活改善推進員養成講座を開催予定(9月～2月 6回) 市政だより、ポスター、チラシ等により、食生活改善推進員活動や養成講座の周知に努める。